

# 県内企業景況調査結果

[2026 年 4～6 月期実績、2026 年 7～9 月期見通し]

沖縄振興開発金融公庫 調査部発表

## 調査結果のポイント

— 県内景況は、拡大している —

### 1. 業況判断 D.I.

実績 (4～6 月期) : 「好転」超幅が縮小したものの、17 期連続のプラス

〔前期 11.8%ポイント (以下、単位省略) ⇒ 当期 4.6〕

- ・中東情勢に伴う影響についての声が聞かれるものの、引き続き観光需要が堅調に推移していることから、県内景況は拡大している

見通し (7～9 月期) : 来期は「好転」超幅がほぼ横這いとなる見通し (来期 2.6)

- ・引き続き原材料高、諸経費増、人手不足の影響はあるも、県内景況は総じて拡大基調が続くとみられる
- ・ただし、中東情勢の影響について、今後の動向を注視する必要がある

### 2. 景況天気

実績 : 16 期連続の「 (晴れ)」(前期 20.3 ⇒ 当期 15.7)

運輸業で「 (快晴)」→「 (晴れ)」

製造業で「 (晴れ)」→「 (薄曇り)」

情報通信業で「 (晴れ)」→「 (曇り)」

飲食店・宿泊業で「 (晴れ)」→「 快晴」

建設業、卸売業、小売業、サービス業で引き続き「 (晴れ)」

見通し : 引き続き「 (晴れ)」となる見通し (来期 15.3)

建設業で「 (晴れ)」→「 (薄曇り)」

製造業で「 (薄曇り)」→「 (晴れ)」

飲食店・宿泊業で引き続き「 (快晴)」

卸売業、小売業、運輸業、サービス業で引き続き「 (晴れ)」

情報通信業で引き続き「 (曇り)」

### 3. 売上 D.I.

実績 : 「増加」超幅がほぼ横這い (同 17.6 ⇒ 同 18.0)

見通し : 「増加」超幅がやや縮小 (同 14.8)

### 4. 採算水準 D.I.

実績 : 「黒字」超幅が縮小 (同 37.6 ⇒ 同 28.9)

見通し : 「黒字」超幅がやや拡大 (同 33.1)

### 5. 資金繰り D.I.

実績 : 「楽」超幅が縮小 (同 5.6 ⇒ 同 0.3)

見通し : 「楽」超から「苦しい」超となる (同△2.0)

沖縄振興開発金融公庫 調査部

[調査内容についてのお問い合わせ先]

調査部 金融経済調査課 (担当: 奥間)

沖縄県那覇市おもろまち 1-2-26

電話 : 098-941-1725

## I. 調査要領

### 1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

### 2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金 1 千万円以上かつ従業員数 20 名以上の企業を対象とする。

### 3. 調査対象企業数及び回答状況

| 業種       | 項目         | 調査対象企業数 | 回答数 | 回答率 (%)              | 回答率 (前回) |
|----------|------------|---------|-----|----------------------|----------|
|          |            | (A)     | (B) | $(B)/(A) \times 100$ |          |
| 全産業 (※1) | 全産業 (※1)   | 363     | 305 | 84.0                 | 84.1     |
|          | 製造業        | 68      | 55  | 80.9                 | 85.3     |
|          | 建設業        | 67      | 59  | 88.1                 | 88.1     |
|          | 卸売業        | 47      | 43  | 91.5                 | 89.4     |
|          | 小売業        | 46      | 36  | 78.3                 | 85.1     |
|          | 運輸業        | 32      | 27  | 84.4                 | 87.5     |
|          | 情報通信業 (※2) | 23      | 21  | 91.3                 | 82.6     |
|          | サービス業      | 44      | 36  | 81.8                 | 77.3     |
|          | 飲食店・宿泊業    | 33      | 25  | 75.8                 | 72.7     |

※1 全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全産業の値は一致しない。

※2 情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

### 4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し自計記入、または WEB 調査システムからの回答を求める方法。さらに、一部企業にヒアリングを実施。

### 5. 調査対象期間

当期 … 2026 年 4～6 月期実績    来期 … 2026 年 7～9 月期見通し

### 6. 調査実施期間

2026 年 5 月下旬～2026 年 6 月上旬  
(発送：2026 年 5 月 22 日、回収基準日：2026 年 6 月 5 日)

### 7. 用語説明等

- (1) 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- (2) D. I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの 3 つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- (3) 景況天気については、売上、採算水準、資金繰り D. I. を平均し、その値を 5 段階に区分して判定している。

Ⅱ. 調査結果

1. 業況判断

— 当期は「好転」超幅が縮小したもの、17 期連続のプラス  
来期は「好転」超幅がほぼ横這いの見通し —

(1) [2026 年 4～6 月期実績]

自社の業況を総合的に判断する業況判断D. I. は 4.6%ポイント (以下、単位省略) と、「好転」超幅が縮小した。  
業種別にみると、運輸業で「好転」超幅が拡大、建設業で「好転」超幅が横這いとなるものの、製造業、卸売業、情報通信業で「好転」超から「悪化」超へ転じ、飲食店・宿泊業で「好転」超幅が縮小、小売業、サービス業で「好転」超幅がやや縮小した。

(2) [2026 年 7～9 月期見通し]

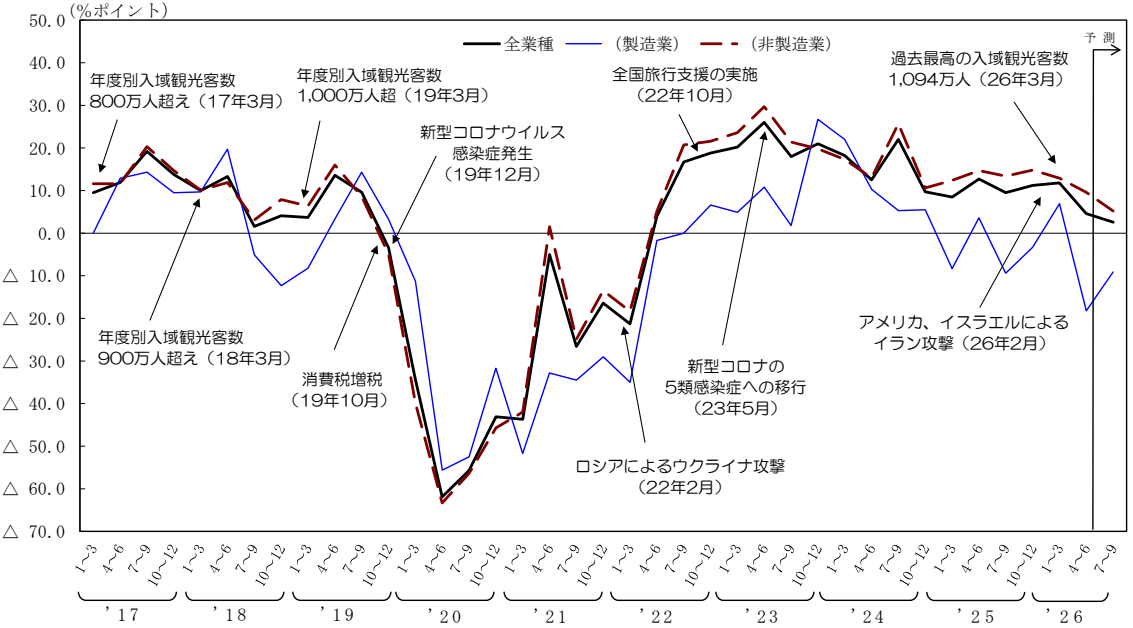
来期の業況判断D. I. は 2.6 と、「好転」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。  
業種別にみると、飲食店・宿泊業で「好転」超幅が大幅に拡大、小売業、サービス業で「好転」超幅がやや拡大、製造業で「悪化」超幅が縮小するものの、建設業で「好転」超から「悪化」超へ転じ、卸売業で「悪化」超幅が拡大、情報通信業で「悪化」超幅がやや拡大、運輸業で「好転」超幅が大幅に縮小する見通しとなっている。

図表1-1. 業況判断D.I.

参考:業況判断D. I. (前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合) (単位: %ポイント)

| 区分<br>業種       |         | 2025年 |       |       |         | 2026年 |        |        |        |
|----------------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|--------|--------|--------|
|                |         | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期  |        | 7～9月期  |
|                |         | 実績    | 実績    | 実績    | 実績      | 前回実績  | 前回見通し  | 今回実績   | 今回見通し  |
| 全産業 D. I (①—②) |         | 8.5   | 12.7  | 9.5   | 11.2    | 11.8  | (6.9)  | 4.6    | 2.6    |
|                | ① 好転(%) | 26.0  | 27.7  | 24.8  | 26.6    | 27.5  | (20.6) | 22.6   | 20.0   |
|                | 不変(%)   | 56.4  | 57.3  | 59.8  | 57.9    | 56.9  | (65.7) | 59.3   | 62.6   |
|                | ② 悪化(%) | 17.6  | 15.0  | 15.4  | 15.5    | 15.7  | (13.7) | 18.0   | 17.4   |
| 製造業            | 製 造 業   | △ 8.3 | 3.6   | △ 9.4 | △ 3.3   | 6.9   | (3.4)  | △ 18.2 | △ 9.1  |
|                | 建 設 業   | 10.0  | 11.3  | 9.7   | 8.5     | 8.5   | (3.4)  | 8.5    | △ 1.7  |
|                | 卸 売 業   | 2.3   | 0.0   | 2.5   | 5.6     | 2.4   | (△9.5) | △ 4.7  | △ 14.0 |
|                | 小 売 業   | 20.5  | 10.3  | 10.3  | 7.3     | 12.5  | (17.5) | 8.3    | 11.1   |
|                | 運 輸 業   | 17.2  | 25.8  | 34.5  | 28.6    | 21.4  | (21.4) | 29.6   | 18.5   |
|                | 情報通信業   | 11.1  | 5.3   | 0.0   | 0.0     | 15.8  | (0.0)  | △ 9.5  | △ 14.3 |
|                | サービス業   | △ 4.9 | 18.4  | 10.8  | 13.9    | 14.7  | (8.8)  | 11.1   | 13.9   |
|                | 飲食店・宿泊業 | 40.7  | 38.5  | 34.8  | 50.0    | 29.2  | (20.8) | 24.0   | 36.0   |

図表1-2. 業況判断D. I. の推移



2. 景況天気

— 当期は16期連続の「晴れ」、来期も「晴れ」の見通し —

(1) [2026年4～6月期実績]

当期の県内企業の動向を全産業ベースでみると、資金繰りD. I. (5.6→0.3) で「楽」超幅が縮小、採算水準D. I. (37.6→28.9) で「黒字」超幅がやや縮小となったものの、売上D. I. (17.6→18.0) で「増加」超幅がほぼ横這いとなったことから、景況天気 (20.3→15.7) は「晴れ」となった。

業種別にみると、運輸業で「快晴」から「晴れ」、製造業で「晴れ」から「薄曇り」、情報通信業で「晴れ」から「曇り」となったものの、飲食店・宿泊業で「晴れ」から「快晴」となり、建設業、卸売業、小売業、サービス業で引き続き「晴れ」となった。

(2) [2026年7～9月期見通し]

来期の見通しは、資金繰りD. I. (△2.0) で「楽」超から「苦しい」超へ転じ、売上D. I. (14.8) で「増加」超幅がやや縮小するものの、採算水準D. I. (33.1) で「黒字」超幅がやや拡大することから、景況天気 (15.3) は「晴れ」の見通しとなっている。

業種別にみると、建設業で「晴れ」から「薄曇り」となるものの、製造業で「薄曇り」から「晴れ」となり、飲食店・宿泊業で引き続き「快晴」、卸売業、小売業、運輸業、サービス業で引き続き「晴れ」、情報通信業で引き続き「曇り」の見通しとなっている。

図表2-1. 景況天気図

参考: 景況天気 (売上、採算水準、資金繰りD. I. の平均値) (単位: %ポイント)

| 業種      | 区分 | 2025年 |       |       |         | 2026年 |        |       |       |
|---------|----|-------|-------|-------|---------|-------|--------|-------|-------|
|         |    | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期  | 7～9月期 |       |
|         |    | 実績    | 実績    | 実績    | 実績      | 前回実績  | 前回見通し  | 今回実績  | 今回見通し |
| 全産業     |    | 12.2  | 17.0  | 16.4  | 18.2    | 20.3  | (16.6) | 15.7  | 15.3  |
| 製造業     |    | 8.3   | 9.5   | △ 2.5 | 10.6    | 13.8  | (16.7) | 8.5   | 15.8  |
| 建設業     |    | 6.7   | 12.9  | 9.7   | 5.6     | 14.1  | (6.8)  | 14.7  | 9.0   |
| 卸売業     |    | 21.7  | 18.3  | 17.5  | 19.4    | 17.5  | (15.1) | 18.6  | 10.9  |
| 小売業     |    | 23.9  | 25.6  | 30.8  | 31.7    | 27.5  | (30.8) | 19.4  | 28.7  |
| 運輸業     |    | 20.7  | 32.3  | 25.3  | 26.2    | 34.5  | (21.4) | 21.0  | 14.8  |
| 情報通信業   |    | △ 5.6 | △ 8.8 | △ 1.7 | △ 1.9   | 10.5  | (0.0)  | △ 9.5 | △ 9.5 |
| サービス業   |    | 6.5   | 16.7  | 25.2  | 18.5    | 23.5  | (19.6) | 20.4  | 20.4  |
| 飲食店・宿泊業 |    | 12.3  | 28.2  | 43.5  | 47.2    | 29.2  | (20.8) | 30.7  | 32.0  |

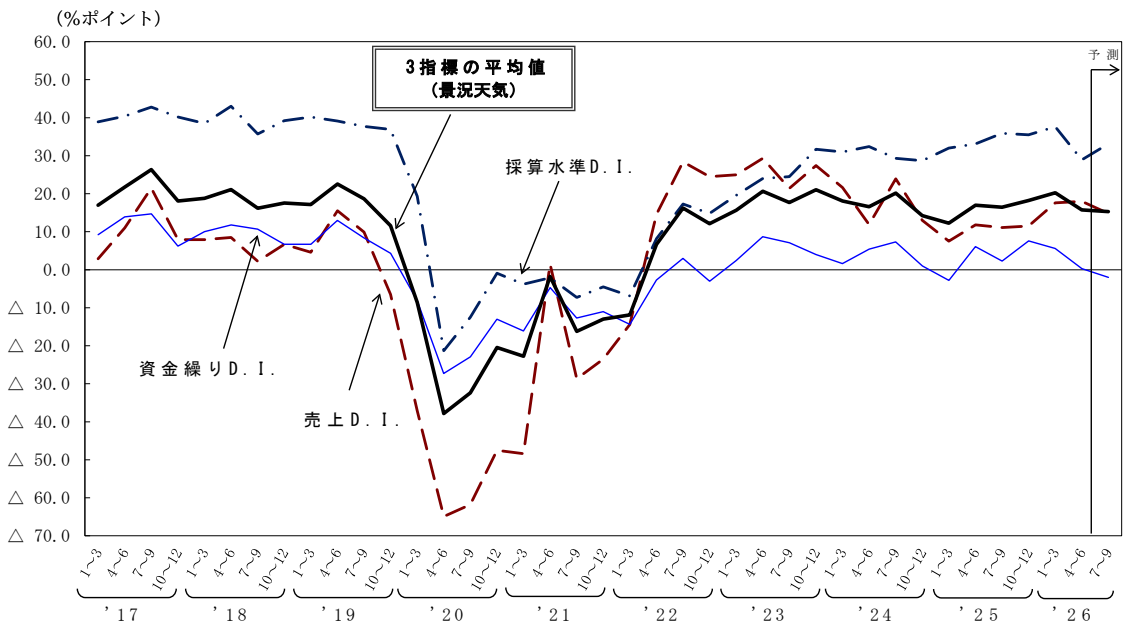
快晴 — 30以上～100以下

曇り — △ 30以上～△ 5未満

雨 — △ 100以上～△ 30未満

薄曇り — △ 5以上～10未満

図表2-2. 売上、採算水準、資金繰りD. I. の推移 (全業種)



3. 売上

— 当期は「増加」超幅がほぼ横這い、来期は「増加」超幅がやや縮小する見通し —

(1) [2026 年 4～6 月期実績]

当期の売上D. I. は 18.0 と、「増加」超幅がほぼ横這いとなった。

業種別にみると、情報通信業で「増加」超幅が大幅に縮小、製造業、運輸業、サービス業で「増加」超幅が縮小、小売業で「増加」超幅がやや縮小したものの、建設業で「減少」超から「増加」超に転じ、飲食店・宿泊業で「増加」超幅が大幅に拡大、卸売業で「増加」超幅が拡大した。

(2) [2026 年 7～9 月期見通し]

来期の売上D. I. は 14.8 と、「増加」超幅がやや縮小する見通しとなっている。

業種別にみると、小売業で「増加」超幅が大幅に拡大、製造業、サービス業で「増加」超幅が拡大するものの、卸売業、情報通信業で「増加」超から「減少」超に転じ、建設業で「増加」超から「保合い」となり、運輸業、飲食店・宿泊業で「増加」超幅が大幅に縮小する見通しとなっている。

図表3-1. 売上D.I.

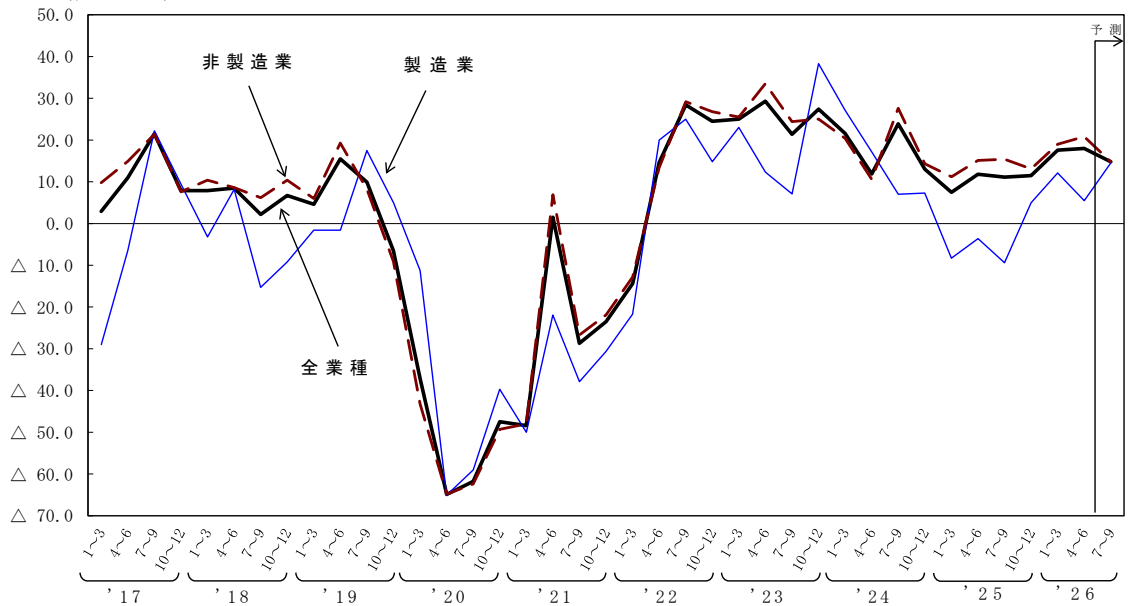
参考: 売上D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

| 区分<br>業種        | 2025年  |        |        |         | 2026年 |        |      |       |
|-----------------|--------|--------|--------|---------|-------|--------|------|-------|
|                 | 1～3月期  | 4～6月期  | 7～9月期  | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期  |      | 7～9月期 |
|                 | 実績     | 実績     | 実績     | 実績      | 前回実績  | 前回見通し  | 今回実績 | 今回見通し |
| 全産業 D. I. (①—②) | 7.5    | 11.8   | 11.1   | 11.5    | 17.6  | (17.0) | 18.0 | 14.8  |
| ① 増加(%)         | 37.3   | 38.9   | 36.9   | 36.8    | 40.5  | (33.7) | 41.3 | 33.8  |
| 不变(%)           | 32.9   | 34.1   | 37.3   | 37.8    | 36.6  | (49.7) | 35.4 | 47.2  |
| ② 減少(%)         | 29.8   | 27.1   | 25.8   | 25.3    | 22.9  | (16.7) | 23.3 | 19.0  |
| 製造業             | △ 8.3  | △ 3.6  | △ 9.4  | 5.0     | 12.1  | (19.0) | 5.5  | 14.5  |
| 建設業             | △ 5.0  | 3.2    | 0.0    | △ 6.8   | △ 3.4 | (△5.1) | 6.8  | 0.0   |
| 卸売業             | 18.6   | △ 12.5 | △ 10.0 | △ 13.9  | 2.4   | (△7.1) | 11.6 | △ 4.7 |
| 小売業             | 28.2   | 30.8   | 28.2   | 26.8    | 35.0  | (40.0) | 30.6 | 41.7  |
| 運輸業             | 10.3   | 35.5   | 37.9   | 17.9    | 35.7  | (32.1) | 29.6 | 18.5  |
| 情報通信業           | △ 27.8 | 0.0    | 20.0   | 11.1    | 21.1  | (15.8) | 4.8  | △ 4.8 |
| サービス業           | 7.3    | 13.2   | 18.9   | 22.2    | 29.4  | (29.4) | 22.2 | 27.8  |
| 飲食店・宿泊業         | 40.7   | 50.0   | 43.5   | 58.3    | 37.5  | (33.3) | 56.0 | 36.0  |

図表3-2. 売上D. I. の推移

(%ポイント)



4. 採算水準

― 当期は「黒字」超幅が縮小、来期は「黒字」超幅がやや拡大する見通し ―

(1) [2026 年 4～6 月期実績]

当期の採算水準D. I. は 28.9 と、「黒字」超幅が縮小した。  
業種別にみると、飲食店・宿泊業で「黒字」超幅がやや拡大したものの、情報通信業「保合い」から「赤字」超となり、製造業、運輸業で「黒字」超幅が大幅に縮小、建設業、卸売業、小売業で「黒字」超幅が縮小、サービス業で「黒字」超幅がやや縮小した。

(2) [2026 年 7～9 月期見通し]

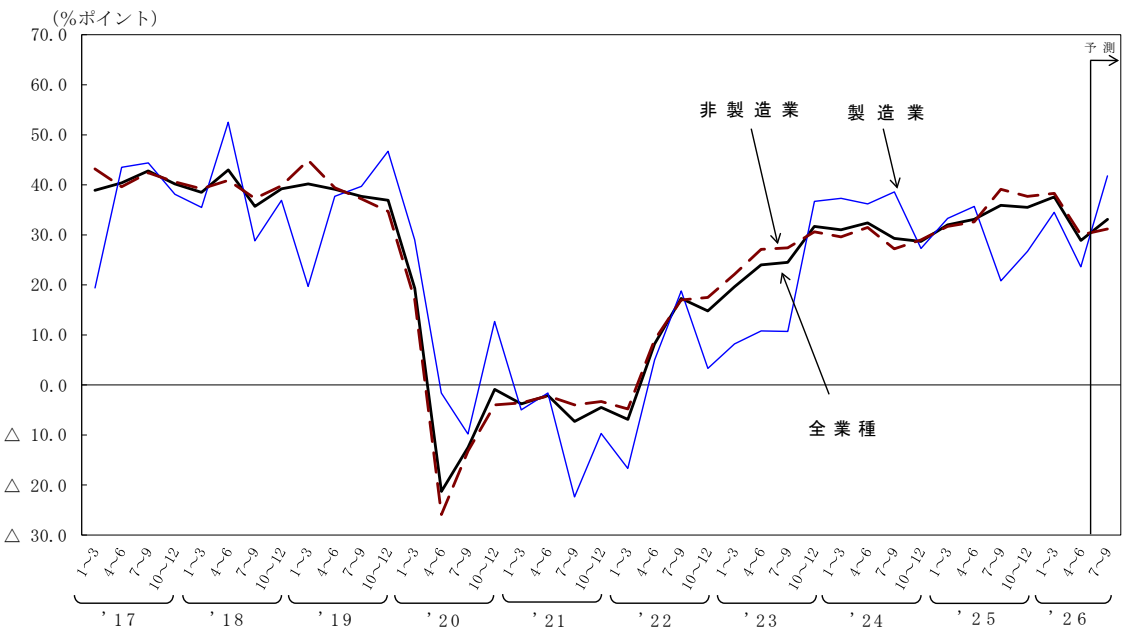
来期の採算水準D. I. は 33.1 と、「黒字」超幅がやや拡大する見通しとなっている。  
業種別にみると、建設業、卸売業、運輸業で「黒字」超幅が縮小するものの、製造業、飲食店・宿泊業で「黒字」超幅が大幅に拡大、小売業で「黒字」超幅が拡大、サービス業で「黒字」超幅がやや拡大、情報通信業で「赤字」超幅が縮小する見通しとなっている。

図表4-1. 採算水準D.I.

参考:採算水準D. I. (当期、「黒字」-「赤字」企業割合) (単位：％ポイント)

| 区分<br>業種        | 2025年 |        |        |         | 2026年 |         |        |        |
|-----------------|-------|--------|--------|---------|-------|---------|--------|--------|
|                 | 1～3月期 | 4～6月期  | 7～9月期  | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期   |        | 7～9月期  |
|                 | 実績    | 実績     | 実績     | 実績      | 前回実績  | 前回見通し   | 今回実績   | 今回見通し  |
| 全産業 D. I. (①—②) | 32.0  | 33.1   | 35.9   | 35.5    | 37.6  | (32.7)  | 28.9   | 33.1   |
| ① 黒字(%)         | 48.3  | 47.5   | 50.0   | 48.0    | 50.3  | (43.8)  | 43.9   | 44.9   |
| トントン(%)         | 35.4  | 38.2   | 35.9   | 39.5    | 36.9  | (45.1)  | 41.0   | 43.3   |
| ② 赤字(%)         | 16.3  | 14.3   | 14.1   | 12.5    | 12.7  | (11.1)  | 15.1   | 11.8   |
| 製造業             | 33.3  | 35.7   | 20.8   | 26.7    | 34.5  | (36.2)  | 23.6   | 41.8   |
| 建設業             | 26.7  | 24.2   | 25.8   | 22.0    | 39.0  | (23.7)  | 33.9   | 28.8   |
| 卸売業             | 51.2  | 60.0   | 62.5   | 63.9    | 52.4  | (47.6)  | 46.5   | 39.5   |
| 小売業             | 46.2  | 38.5   | 56.4   | 51.2    | 40.0  | (45.0)  | 33.3   | 41.7   |
| 運輸業             | 44.8  | 41.9   | 31.0   | 42.9    | 50.0  | (32.1)  | 25.9   | 18.5   |
| 情報通信業           | 0.0   | △ 15.8 | △ 20.0 | △ 11.1  | 0.0   | (△ 5.3) | △ 23.8 | △ 14.3 |
| サービス業           | 29.3  | 34.2   | 45.9   | 30.6    | 35.3  | (29.4)  | 33.3   | 36.1   |
| 飲食店・宿泊業         | 3.7   | 23.1   | 56.5   | 54.2    | 29.2  | (33.3)  | 32.0   | 56.0   |

図表4-2. 採算水準D. I. の推移



5. 資金繰り

— 当期は「楽」超幅が縮小、  
来期は「楽」超から「苦しい」超へ転じる見通し —

(1) [2026 年 4～6 月期実績]

当期の資金繰り D. I. は 0.3 と、「楽」超幅が縮小した。

業種別にみると、サービス業で「楽」超幅がほぼ横這いとなるものの、小売業、情報通信業で「楽」超から「苦しい」超へ転じ、運輸業、飲食店・宿泊業で「楽」超幅が大幅に縮小、建設業で「楽」超幅がやや縮小、製造業、卸売業で「苦しい」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) [2026 年 7～9 月期見通し]

来期の資金繰り D. I. は  $\Delta 2.0$  と、「楽」超から「苦しい」超へと転じる見通しとなっている。

業種別にみると、小売業で「苦しい」超から「楽」超に転じ、運輸業、飲食店・宿泊業で「楽」超幅が横這いとなるものの、建設業、サービス業で「楽」超から「苦しい」超へ転じ、製造業で「苦しい」超幅が拡大、卸売業、情報通信業で「苦しい」超幅が横這いとなる見通しとなっている。

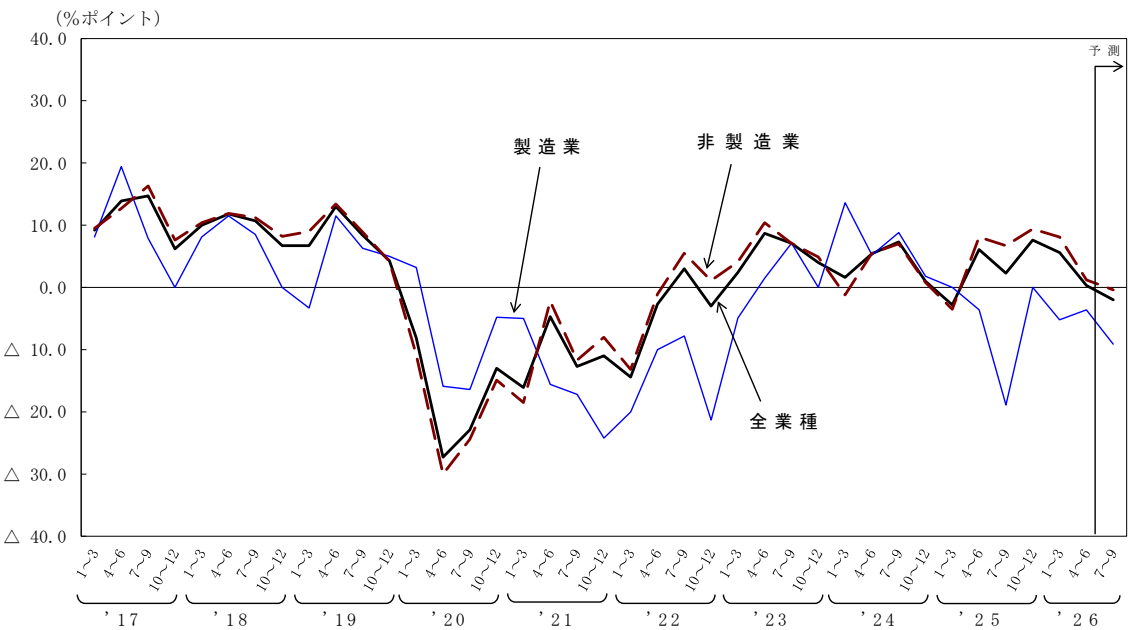
図表5-1. 資金繰り D.I.

参考: 資金繰り D. I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位: %ポイント)

| 業種              |           | 区分 | 2025年   |         |         |         | 2026年  |          |        |        |
|-----------------|-----------|----|---------|---------|---------|---------|--------|----------|--------|--------|
|                 |           |    | 1～3月期   | 4～6月期   | 7～9月期   | 10～12月期 | 1～3月期  | 4～6月期    |        | 7～9月期  |
|                 |           |    | 実績      | 実績      | 実績      | 実績      | 前回実績   | 前回見通し    | 今回実績   | 今回見通し  |
| 全産業 D. I. (①—②) |           |    | △ 2. 8  | 6. 1    | 2. 3    | 7. 6    | 5. 6   | (0. 0)   | 0. 3   | △ 2. 0 |
|                 | ① 楽 (%)   |    | 10. 0   | 14. 3   | 10. 5   | 14. 8   | 11. 8  | (9. 2)   | 9. 5   | 8. 5   |
|                 | 不 変 (%)   |    | 77. 1   | 77. 4   | 81. 4   | 78. 0   | 82. 0  | (81. 7)  | 81. 3  | 81. 0  |
|                 | ② 苦しい (%) |    | 12. 9   | 8. 3    | 8. 2    | 7. 2    | 6. 2   | (9. 2)   | 9. 2   | 10. 5  |
| 製 造 業           |           |    | 0. 0    | △ 3. 6  | △ 18. 9 | 0. 0    | △ 5. 2 | (△5. 2)  | △ 3. 6 | △ 9. 1 |
| 建 設 業           |           |    | △ 1. 7  | 11. 3   | 3. 2    | 1. 7    | 6. 8   | (1. 7)   | 3. 4   | △ 1. 7 |
| 卸 売 業           |           |    | △ 4. 7  | 7. 5    | 0. 0    | 8. 3    | △ 2. 4 | (4. 8)   | △ 2. 3 | △ 2. 3 |
| 小 売 業           |           |    | △ 2. 6  | 7. 7    | 7. 7    | 17. 1   | 7. 5   | (7. 5)   | △ 5. 6 | 2. 8   |
| 運 輸 業           |           |    | 6. 9    | 19. 4   | 6. 9    | 17. 9   | 17. 9  | (0. 0)   | 7. 4   | 7. 4   |
| 情報通信業           |           |    | 11. 1   | △ 10. 5 | △ 5. 0  | △ 5. 6  | 10. 5  | (△10. 5) | △ 9. 5 | △ 9. 5 |
| サービス業           |           |    | △ 17. 1 | 2. 6    | 10. 8   | 2. 8    | 5. 9   | (0. 0)   | 5. 6   | △ 2. 8 |
| 飲食店・宿泊業         |           |    | △ 7. 4  | 11. 5   | 30. 4   | 29. 2   | 20. 8  | (△4. 2)  | 4. 0   | 4. 0   |

図表5-2. 資金繰り D. I. の推移



6. 借入難易

― 当期は「容易」超幅がやや縮小、来期は「容易」超幅がほぼ横這いの見通し ―

(1) [2026 年 4～6 月期実績]

当期の民間金融機関からの借入難易D. I. は2.0 と、「容易」超幅がやや縮小した。  
業種別にみると、卸売業で「容易」超幅がやや拡大、運輸業で「容易」超幅がほぼ横  
這いとなったものの、製造業、建設業、飲食店・宿泊業で「容易」超から「保合い」と  
なり、小売業で「容易」超幅がやや縮小、情報通信業、サービス業では引き続き「保合  
い」となった。

(2) [2026 年 7～9 月期見通し]

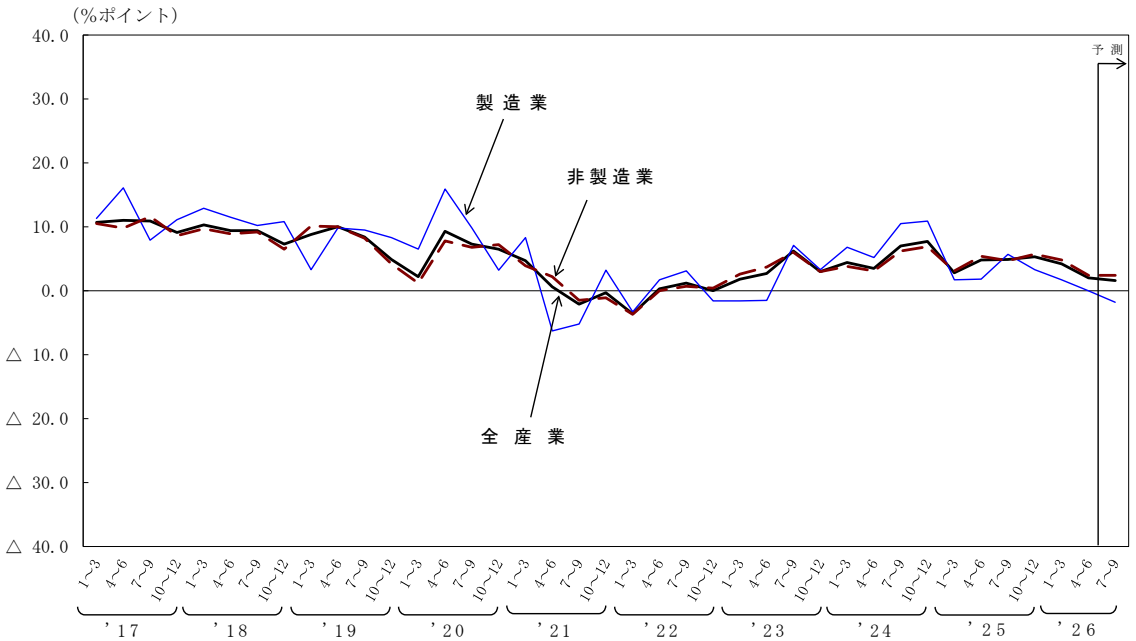
来期の借入難易D. I. は1.6 と、「容易」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。  
業種別にみると、小売業で「容易」超から「困難」超へと転じ、製造業で「保合い」  
から「困難」超となるものの、建設業、飲食店・宿泊業で「保合い」から「容易」超と  
なり、卸売業、運輸業で「容易」超幅が横這い、情報通信業、サービス業で引き続き「保  
合い」となる見通しとなっている。

図表6-1. 借入難易D.I.

参考:借入難易D. I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合) (単位 : %ポイント)

| 区分<br><br>業種   |         | 2025年 |       |       |         | 2026年 |        |      |       |
|----------------|---------|-------|-------|-------|---------|-------|--------|------|-------|
|                |         | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期  |      | 7～9月期 |
|                |         | 実績    | 実績    | 実績    | 実績      | 前回実績  | 前回見通し  | 今回実績 | 今回見通し |
| 全産業 D. I (①—②) |         | 2.8   | 4.8   | 4.9   | 5.3     | 4.2   | (2.9)  | 2.0  | 1.6   |
|                | ① 容易(%) | 5.0   | 6.7   | 7.2   | 7.6     | 6.2   | (5.9)  | 5.2  | 5.2   |
|                | 不変(%)   | 92.8  | 91.4  | 90.5  | 90.1    | 91.8  | (91.2) | 91.5 | 91.1  |
|                | ② 困難(%) | 2.2   | 1.9   | 2.3   | 2.3     | 2.0   | (2.9)  | 3.3  | 3.6   |
| 製 造 業          |         | 1.7   | 1.8   | 5.7   | 3.3     | 1.7   | (0.0)  | 0.0  | △ 1.8 |
| 建 設 業          |         | 6.7   | 9.7   | 4.8   | 3.4     | 3.4   | (5.1)  | 0.0  | 1.7   |
| 卸 売 業          |         | 4.7   | 5.0   | 0.0   | 2.8     | 2.4   | (2.4)  | 7.0  | 7.0   |
| 小 売 業          |         | 0.0   | 7.7   | 5.1   | 9.8     | 7.5   | (5.0)  | 2.8  | △ 2.8 |
| 運 輸 業          |         | 0.0   | △ 3.2 | 0.0   | 7.1     | 7.1   | (7.1)  | 7.4  | 7.4   |
| 情報通信業          |         | 0.0   | △ 5.3 | 0.0   | 0.0     | 0.0   | (0.0)  | 0.0  | 0.0   |
| サービス業          |         | 7.3   | 13.2  | 5.4   | 2.8     | 0.0   | (0.0)  | 0.0  | 0.0   |
| 飲食店・宿泊業        |         | △ 3.7 | 0.0   | 21.7  | 16.7    | 16.7  | (4.2)  | 0.0  | 4.0   |

図表6-2. 借入難易D. I. の推移



### Ⅲ. 参考

#### 参考 1. 販売数量（製造業・卸売業・小売業のみ）

##### — 当期は「減少」超幅がやや拡大、来期も「減少」超幅がやや拡大する見通し —

##### (1) [2026 年 4～6 月期実績]

当期の販売数量D. I. は△4.5 と「減少」超幅がやや拡大した。

業種別にみると、製造業で「減少」超幅がやや縮小したものの、卸売業で「減少」超幅が拡大、小売業で「増加」超幅が縮小した。

##### (2) [2026 年 7～9 月期見通し]

来期の販売数量D. I. は△7.5 と「減少」超幅がやや拡大する見通しとなっている。

業種別にみると、小売業で「増加」超幅がやや拡大するものの、製造業で「減少」超幅が拡大、卸売業で「減少」超幅がやや拡大する見通しとなっている。

表1. 販売数量D.I.

参考:販売数量D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

| 業種  | 区分          | 2025年  |        |        |         | 2026年  |        |        |        |
|-----|-------------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|
|     |             | 1～3月期  | 4～6月期  | 7～9月期  | 10～12月期 | 1～3月期  | 4～6月期  |        | 7～9月期  |
|     |             | 実績     | 実績     | 実績     | 実績      | 前回実績   | 前回見通し  | 今回実績   | 今回見通し  |
| 全産業 | D. I. (①—②) | △ 12.0 | △ 13.3 | △ 13.6 | △ 2.9   | △ 0.7  | (10.7) | △ 4.5  | △ 7.5  |
|     | ① 増加(%)     | 25.4   | 25.9   | 25.0   | 28.5    | 32.1   | (30.0) | 29.1   | 21.6   |
|     | 不変(%)       | 37.3   | 34.8   | 36.4   | 40.1    | 35.0   | (50.7) | 37.3   | 49.3   |
|     | ② 減少(%)     | 37.3   | 39.3   | 38.6   | 31.4    | 32.9   | (19.3) | 33.6   | 29.1   |
|     | 製造業         | △ 20.0 | △ 21.4 | △ 28.3 | △ 1.7   | △ 12.1 | (12.1) | △ 9.1  | △ 16.4 |
| 卸売業 |             | △ 9.3  | △ 25.0 | △ 20.0 | △ 25.0  | △ 9.5  | (△9.5) | △ 18.6 | △ 20.9 |
|     | 小売業         | △ 2.6  | 10.3   | 12.8   | 14.6    | 25.0   | (30.0) | 19.4   | 22.2   |

#### 参考 2. 販売価格（製造業・卸売業・小売業のみ）

##### — 当期は「上昇」超幅が拡大、来期は「上昇」超幅がほぼ横這いの見通し —

##### (1) [2026 年 4～6 月期実績]

当期の販売価格D. I. は 63.4 と、「上昇」超幅が拡大した。

業種別にみると、製造業で「上昇」超幅がほぼ横這いとなり、卸売業、小売業で「上昇」超幅が大幅に拡大した。

##### (2) [2026 年 7～9 月期見通し]

来期の販売価格D. I. は 64.9 と、「上昇」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

業種別にみると、卸売業で「上昇」超幅が縮小するものの、製造業で「上昇」超幅が大幅に拡大し、小売業で「上昇」超幅が横這いとなる見通しとなっている。

表2. 販売価格D.I.

参考:販売価格D. I. (前年同期比、「上昇」-「下降」企業割合)

(単位: %ポイント)

| 業種  | 区分          | 2025年 |       |       |         | 2026年 |        |      |       |
|-----|-------------|-------|-------|-------|---------|-------|--------|------|-------|
|     |             | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期  |      | 7～9月期 |
|     |             | 実績    | 実績    | 実績    | 実績      | 前回実績  | 前回見通し  | 今回実績 | 今回見通し |
| 全産業 | D. I. (①—②) | 50.0  | 59.3  | 50.0  | 48.9    | 53.6  | (47.9) | 63.4 | 64.9  |
|     | ① 上昇(%)     | 54.2  | 63.0  | 59.1  | 53.3    | 57.1  | (51.4) | 64.9 | 67.2  |
|     | 不変(%)       | 41.5  | 33.3  | 31.8  | 42.3    | 39.3  | (45.0) | 33.6 | 30.6  |
|     | ② 下降(%)     | 4.2   | 3.7   | 9.1   | 4.4     | 3.6   | (3.6)  | 1.5  | 2.2   |
|     | 製造業         | 31.7  | 51.8  | 35.8  | 36.7    | 44.8  | (31.0) | 43.6 | 54.5  |
| 卸売業 |             | 65.1  | 67.5  | 62.5  | 69.4    | 64.3  | (66.7) | 74.4 | 65.1  |
|     | 小売業         | 61.5  | 61.5  | 56.4  | 48.8    | 55.0  | (52.5) | 80.6 | 80.6  |

参考 3. 在庫水準（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 「過剰」超幅が縮小—

〔2026 年 6 月期末〕

在庫水準D. I. は△2.2 と、前期末と比べて「過剰」超幅が縮小した。  
業種別にみると、小売業で「過剰」超幅が大幅に拡大したものの、製造業で「過剰」超から「不足」超に転じ、卸売業で「過剰」超幅が縮小した。

表3. 在庫水準D.I.

参考：在庫水準D. I. （当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合）

（単位：％ポイント）

| 業種  | 区分          | 2025年  |        |        |        | 2026年  |        |
|-----|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|     |             | 3月期末   | 6月期末   | 9月期末   | 12月期末  | 3月期末   | 6月期末   |
| 全産業 | D. I. (①—②) | △ 6.3  | △ 9.6  | △ 3.8  | △ 5.1  | △ 7.9  | △ 2.2  |
|     | ① 不足(%)     | 3.5    | 1.5    | 5.3    | 3.6    | 3.6    | 9.0    |
|     | 適正(%)       | 86.6   | 87.4   | 85.6   | 87.6   | 85.0   | 79.9   |
|     | ② 過剰(%)     | 9.9    | 11.1   | 9.1    | 8.8    | 11.4   | 11.2   |
|     | 製 造 業       | △ 5.0  | △ 5.4  | △ 1.9  | 3.3    | △ 5.2  | 12.7   |
|     | 卸 売 業       | △ 2.3  | △ 7.5  | 0.0    | △ 8.3  | △ 16.7 | △ 7.0  |
|     | 小 売 業       | △ 12.8 | △ 17.9 | △ 10.3 | △ 14.6 | △ 2.5  | △ 19.4 |

参考 4. 雇用判断

－ 当期は「不足」超幅がほぼ横這い、来期は「不足」超幅が横這いの見通し －

(1) [2026 年 4～6 月期実績]

当期の雇用判断D. I. は 54.1 と、「不足」超幅がほぼ横這いとなった。  
業種別にみると、小売業で「不足」超幅が大幅に縮小、卸売業、情報通信業で「不足」超幅が縮小したものの、運輸業で「不足」超幅が拡大、製造業、建設業、サービス業で「不足」超幅がやや拡大、飲食店・宿泊業で「不足」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) [2026 年 7～9 月期見通し]

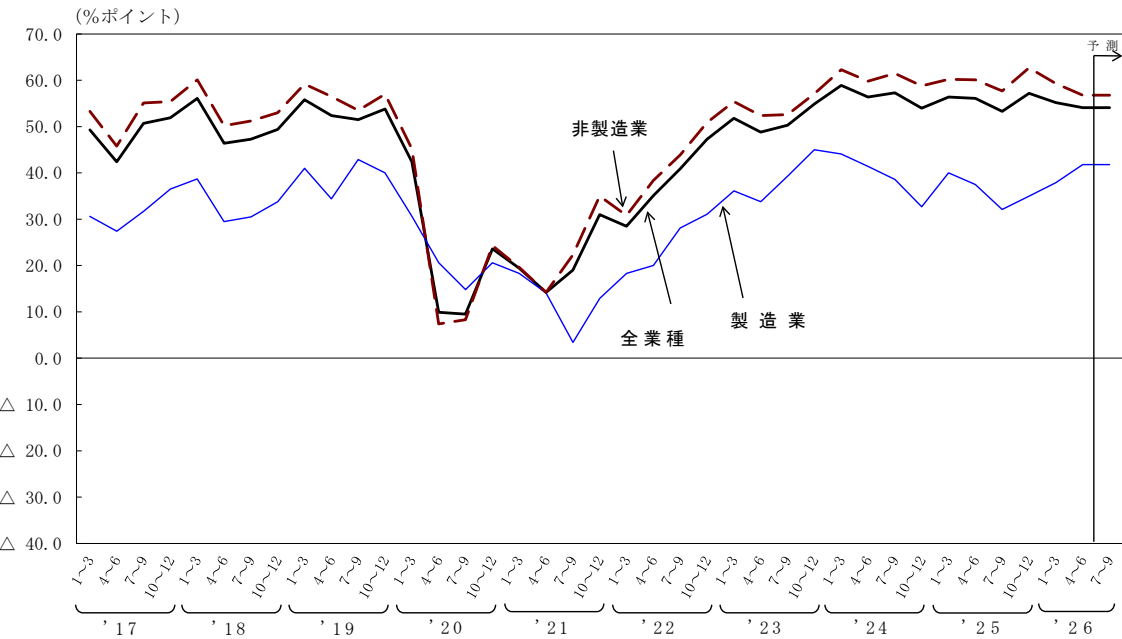
来期の雇用判断D. I. は 54.1 と、「不足」超幅が横這いの見通しとなっている。  
業種別にみると、卸売業、運輸業、サービス業で「不足」超幅がやや縮小するものの、飲食店・宿泊業で「不足」超幅が大幅に拡大、情報通信業で「不足」超幅がやや拡大、製造業、建設業、小売業で「不足」超幅が横這いとなる見通しとなっている。

図表4-1. 雇用判断D.I.

参考:雇用判断D. I. (当期、「不足」-「過剰」企業割合) (単位: %ポイント)

| 区分<br><br>業種    |         | 2025年 |       |       |         | 2026年  |        |      |       |
|-----------------|---------|-------|-------|-------|---------|--------|--------|------|-------|
|                 |         | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期  | 4～6月期  |      | 7～9月期 |
|                 |         | 実績    | 実績    | 実績    | 実績      | 前回実績   | 前回見通し  | 今回実績 | 今回見通し |
| 全産業 D. I. (①—②) |         | 56.4  | 56.1  | 53.3  | 57.2    | 55.2   | (55.2) | 54.1 | 54.1  |
|                 | ① 不足(%) | 57.7  | 57.0  | 54.9  | 58.6    | 56.9   | (56.9) | 55.1 | 55.4  |
|                 | 適正(%)   | 41.1  | 42.0  | 43.5  | 40.1    | 41.5   | (41.5) | 43.9 | 43.3  |
|                 | ② 過剰(%) | 1.3   | 1.0   | 1.6   | 1.3     | 1.6    | (1.6)  | 1.0  | 1.3   |
|                 | 製 造 業   | 40.0  | 37.5  | 32.1  | 35.0    | 37.9   | (37.9) | 41.8 | 41.8  |
| 建 設 業           | 73.3    | 72.6  | 66.1  | 74.6  | 71.2    | (71.2) | 74.6   | 74.6 |       |
| 卸 売 業           | 48.8    | 57.5  | 52.5  | 52.8  | 52.4    | (52.4) | 44.2   | 39.5 |       |
| 小 売 業           | 59.0    | 56.4  | 69.2  | 63.4  | 62.5    | (57.5) | 50.0   | 50.0 |       |
| 運 輸 業           | 55.2    | 61.3  | 48.3  | 57.1  | 53.6    | (64.3) | 59.3   | 55.6 |       |
| 情報通信業           | 38.9    | 47.4  | 45.0  | 33.3  | 42.1    | (36.8) | 33.3   | 38.1 |       |
| サービス業           | 61.0    | 50.0  | 48.6  | 72.2  | 52.9    | (52.9) | 55.6   | 52.8 |       |
| 飲食店・宿泊業         | 66.7    | 61.5  | 56.5  | 58.3  | 62.5    | (62.5) | 64.0   | 76.0 |       |

図表4-2. 雇用判断D. I. の推移



参考 5. 経営上の問題点

— 4 期ぶりに「原材料高」の割合が最多となる —

〔2026 年 4～6 月期実績〕

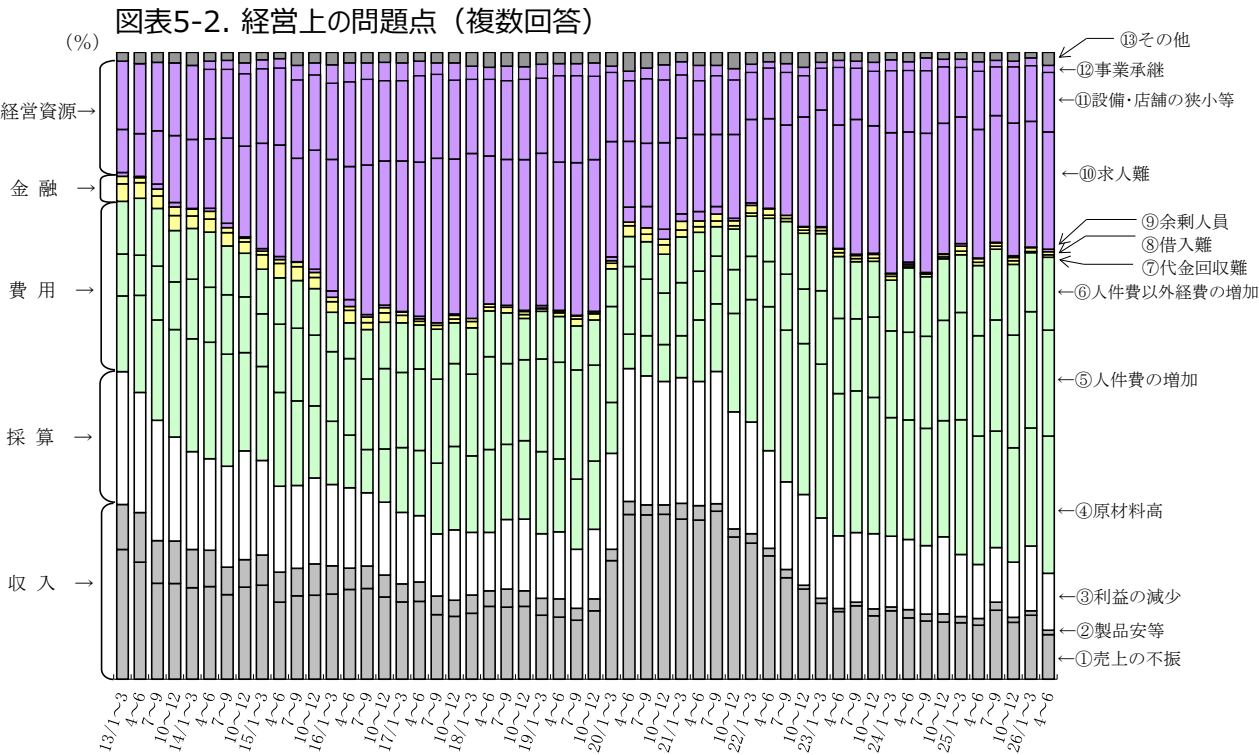
当面の経営上の問題点としては、「原材料高」（図表 5-1 の表頭④21.9％）の割合が最も高く、続いて「求人難」（同⑩18.7％）、「人件費の増加」（同⑤16.9％）の順となった。

業種別にみると、製造業、卸売業、小売業、運輸業、飲食店・宿泊業では「原材料高」の割合が、建設業では「原材料高」と「求人難」の割合が、サービス業では「求人難」の割合が、情報通信業では「売上の不振」の割合が最も高かった。

図表5-1.経営上の問題点(複数回答)

(単位：％)

| 区分<br>業種 | ①<br>売上の不振 | ②<br>製品安等 | ③<br>利益の減少 | ④<br>原材料高 | ⑤<br>人件費の増加 | ⑥<br>人件費以外経費の増加 | ⑦<br>代金回収難 | ⑧<br>借入難 | ⑨<br>余剰人員 | ⑩<br>求人難 | ⑪<br>設備・店舗の狭小等 | ⑫<br>事業承継 | ⑬<br>その他 |
|----------|------------|-----------|------------|-----------|-------------|-----------------|------------|----------|-----------|----------|----------------|-----------|----------|
| 全産業      | 7.1        | 0.7       | 9.1        | 21.9      | 16.9        | 11.6            | 0.4        | 0.5      | 0.4       | 18.7     | 9.5            | 1.1       | 2.1      |
| 製造業      | 7.6        | 0.0       | 8.9        | 24.2      | 15.9        | 10.8            | 0.6        | 0.0      | 0.6       | 11.5     | 17.2           | 0.0       | 2.5      |
| 建設業      | 6.3        | 0.0       | 12.0       | 24.7      | 13.3        | 13.9            | 0.0        | 0.6      | 0.0       | 24.7     | 1.9            | 0.6       | 1.9      |
| 卸売業      | 7.3        | 1.8       | 10.1       | 21.1      | 18.3        | 10.1            | 0.0        | 0.0      | 0.9       | 16.5     | 8.3            | 0.9       | 4.6      |
| 小売業      | 5.4        | 1.1       | 5.4        | 20.4      | 18.3        | 11.8            | 1.1        | 0.0      | 0.0       | 19.4     | 12.9           | 2.2       | 2.2      |
| 運輸業      | 2.9        | 0.0       | 4.3        | 24.3      | 18.6        | 14.3            | 0.0        | 1.4      | 0.0       | 21.4     | 10.0           | 1.4       | 1.4      |
| 情報通信業    | 25.5       | 0.0       | 19.6       | 15.7      | 5.9         | 7.8             | 0.0        | 0.0      | 2.0       | 13.7     | 7.8            | 2.0       | 0.0      |
| サービス業    | 5.3        | 2.1       | 6.4        | 14.9      | 22.3        | 9.6             | 1.1        | 2.1      | 0.0       | 23.4     | 9.6            | 2.1       | 1.1      |
| 飲食店・宿泊業  | 2.8        | 1.4       | 7.0        | 25.4      | 21.1        | 11.3            | 0.0        | 0.0      | 0.0       | 19.7     | 8.5            | 1.4       | 1.4      |



# 参考資料：業種別 D.I.の推移

## 1. 製造業

図1-1 業況判断D.I.の推移（製造業）

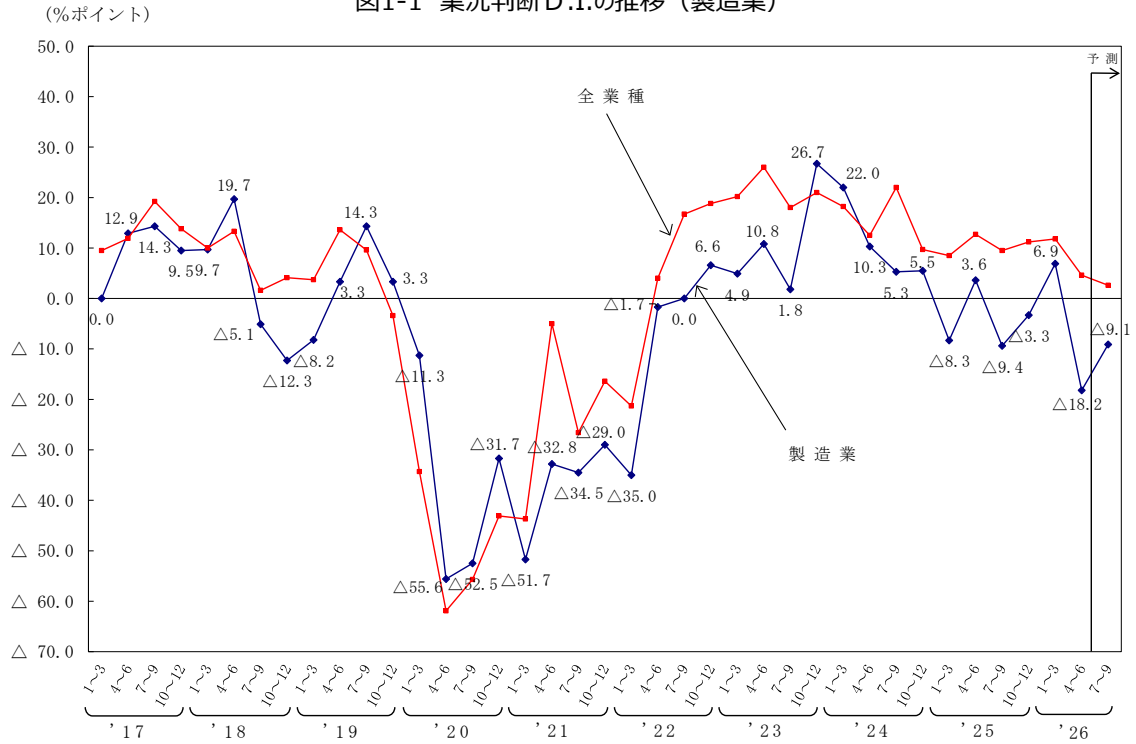
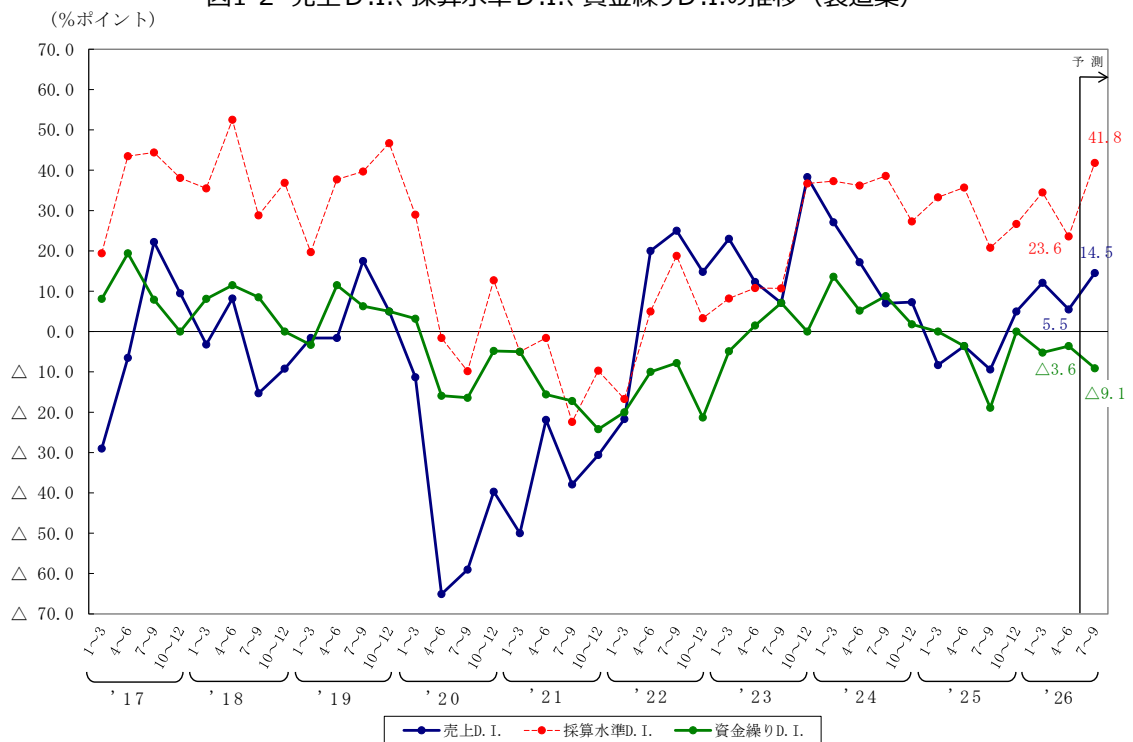


図1-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（製造業）



## 2. 建設業

図2-1 業況判断D.I.の推移（建設業）

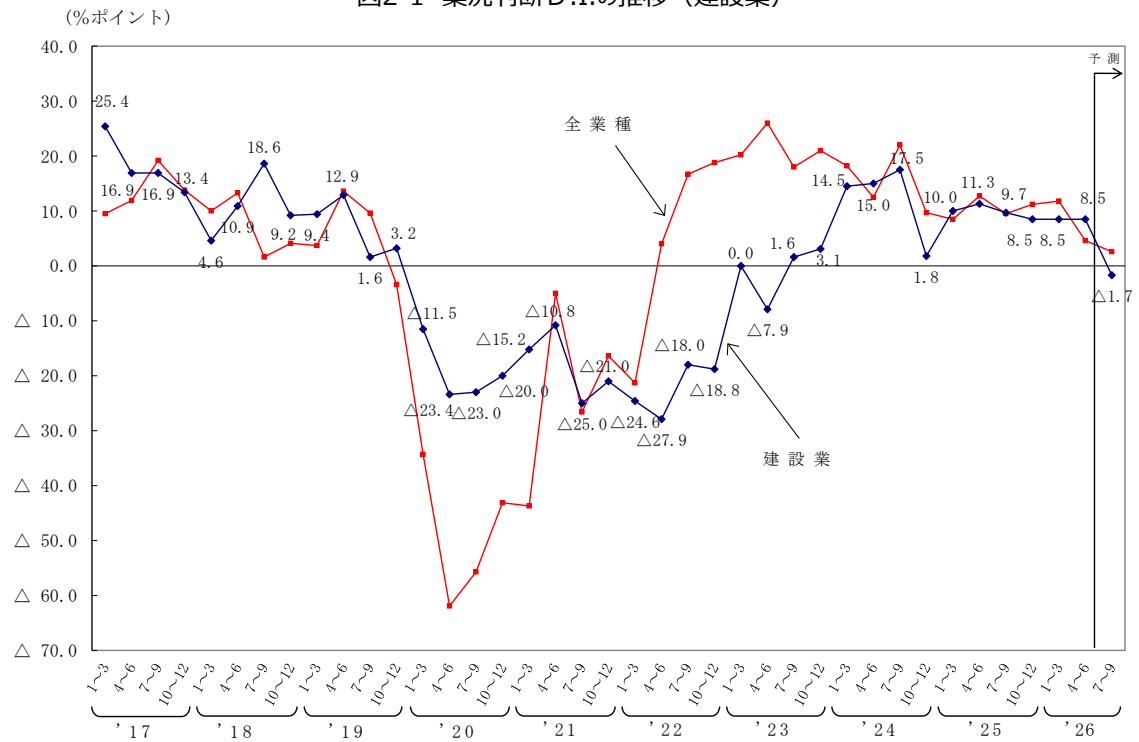
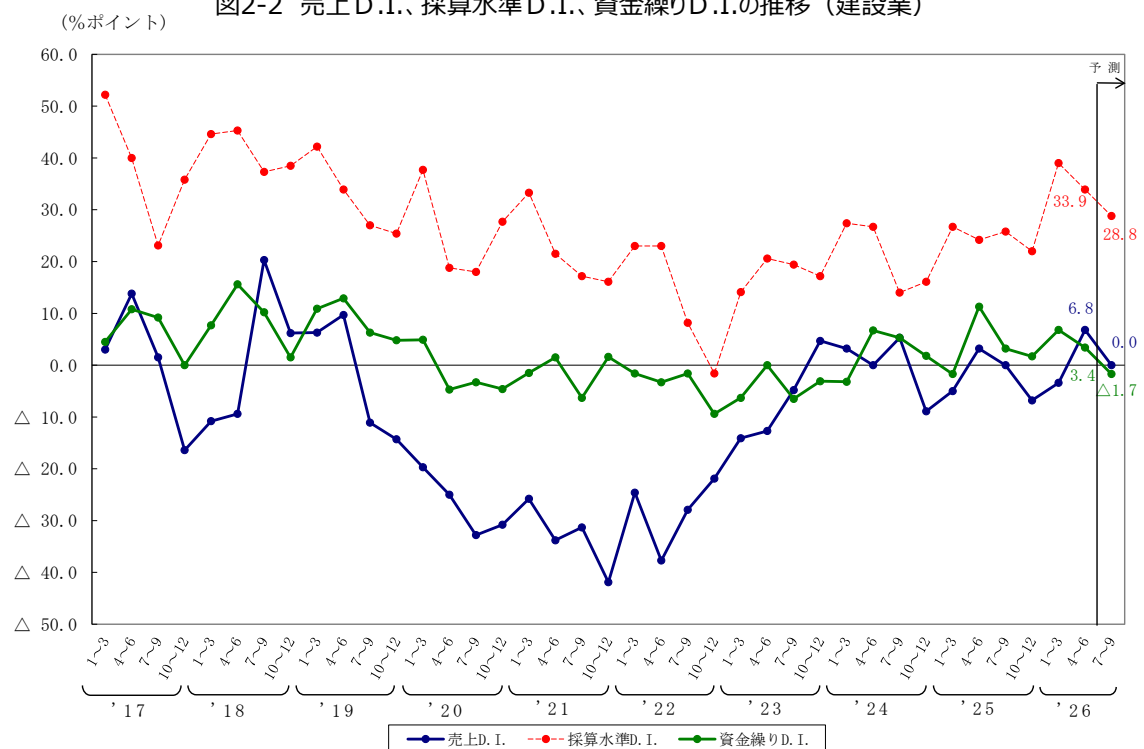


図2-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（建設業）



### 3. 卸売業

図3-1 業況判断D.I.の推移（卸売業）

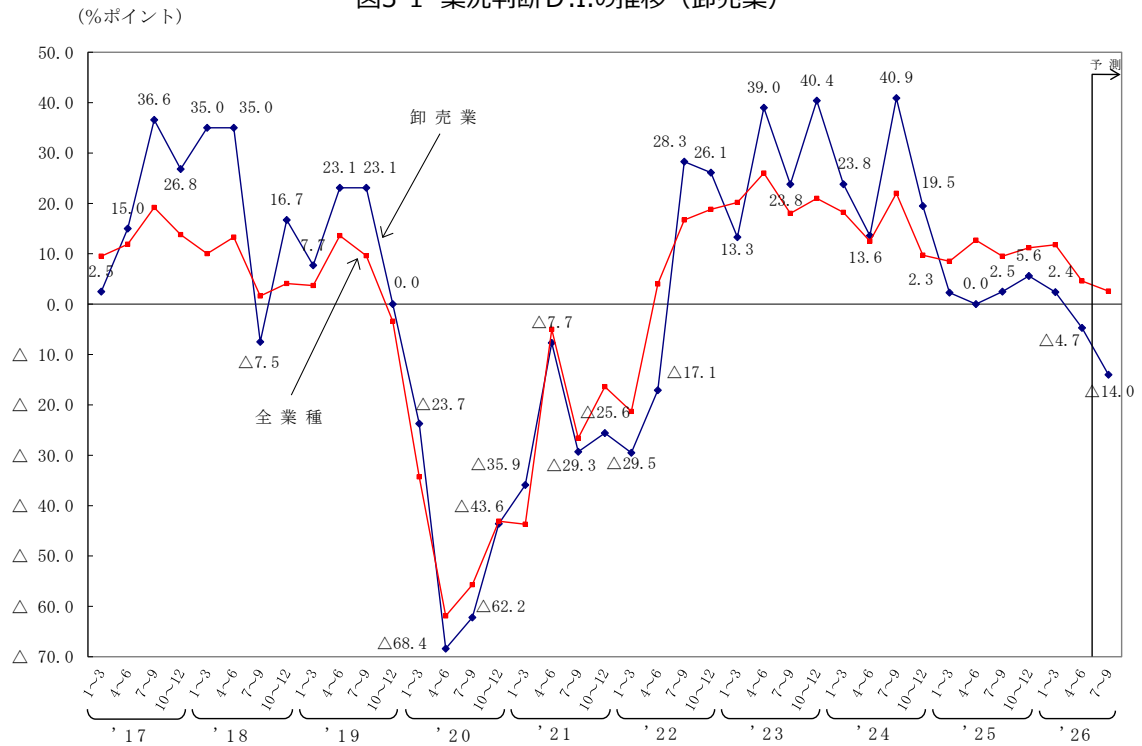
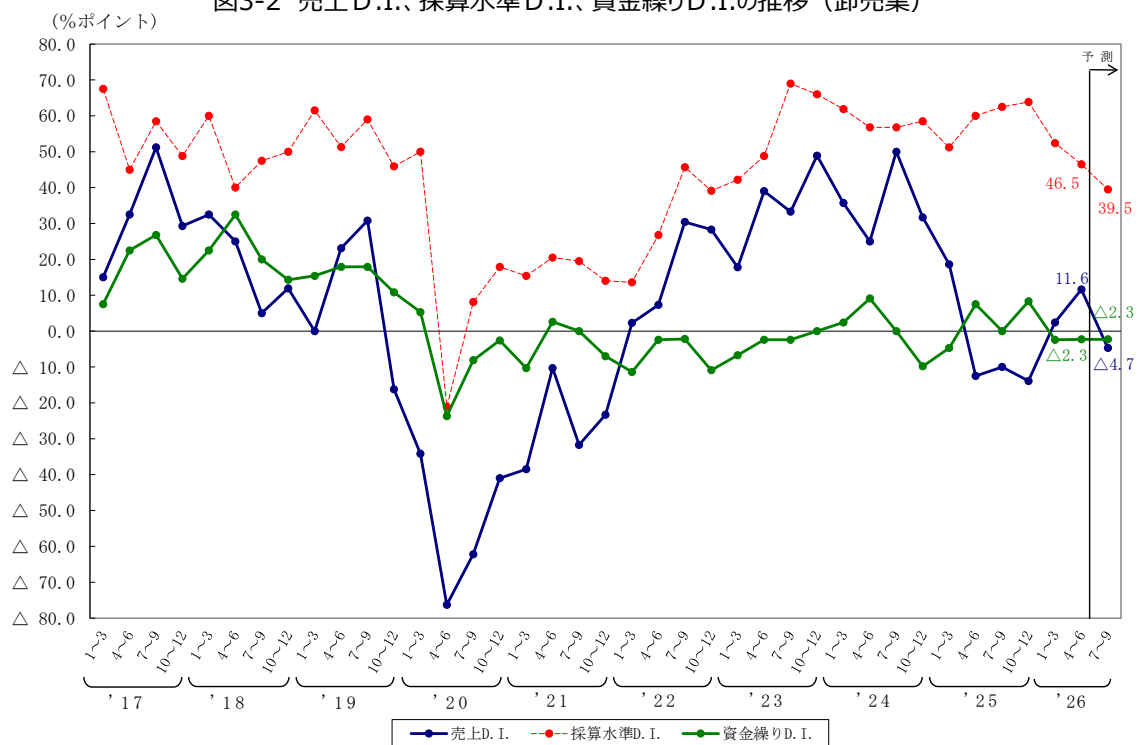


図3-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（卸売業）



#### 4. 小売業

図4-1 業況判断D.I.の推移（小売業）

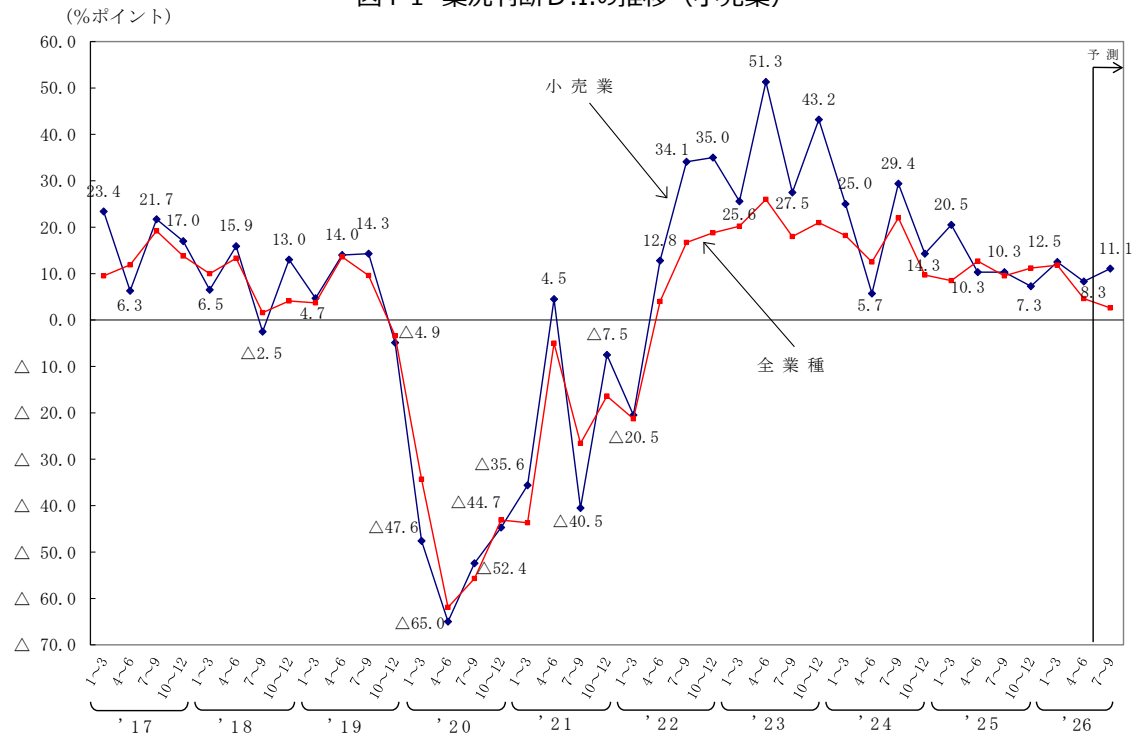
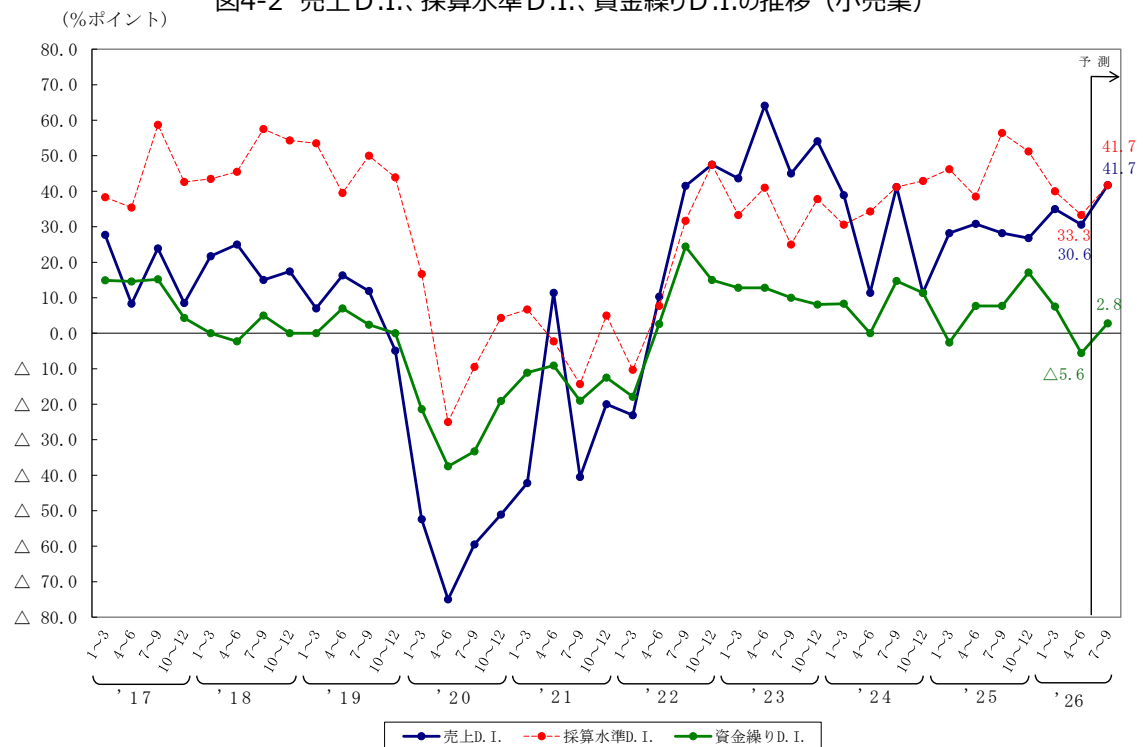


図4-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（小売業）



## 5. 運輸業

図5-1 業況判断D.I.の推移（運輸業）

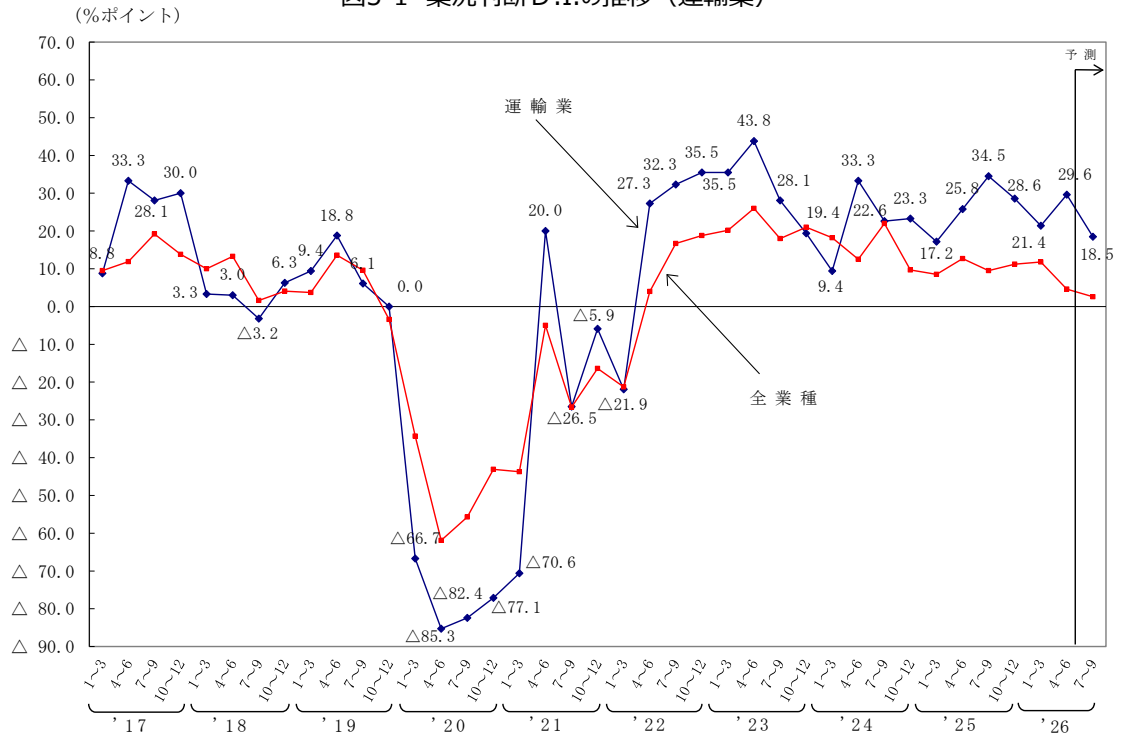
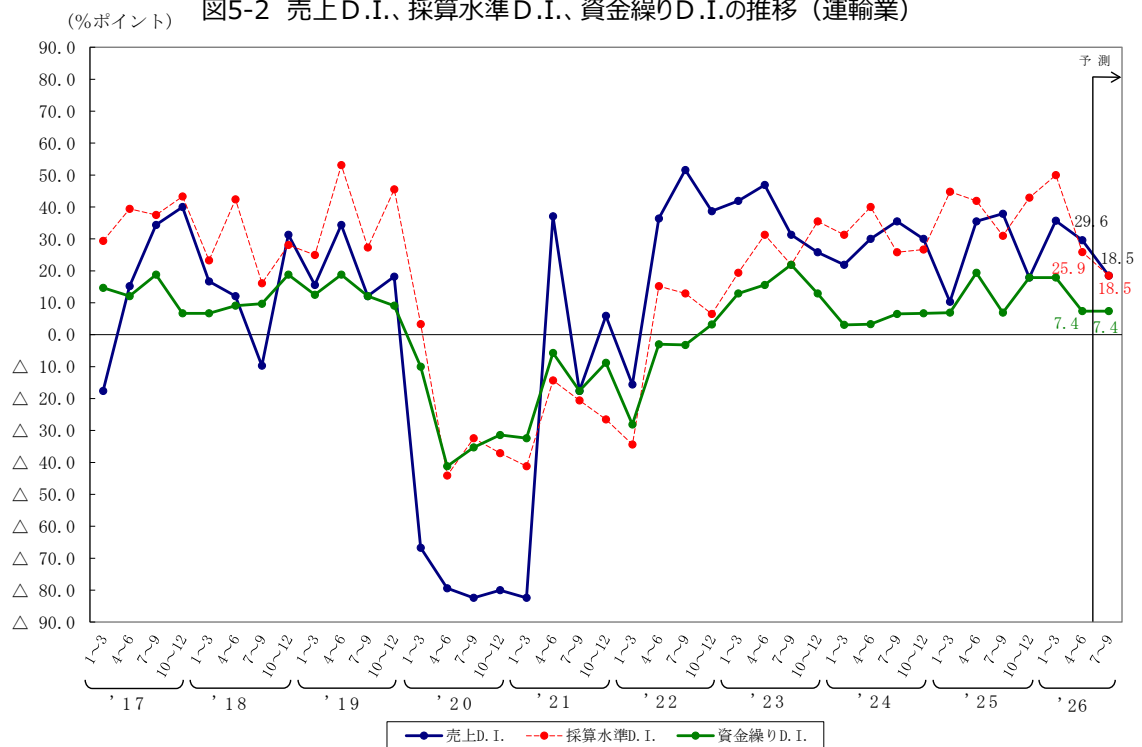


図5-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（運輸業）



## 6. 情報通信業

図6-1 業況判断D.I.の推移（情報通信業）

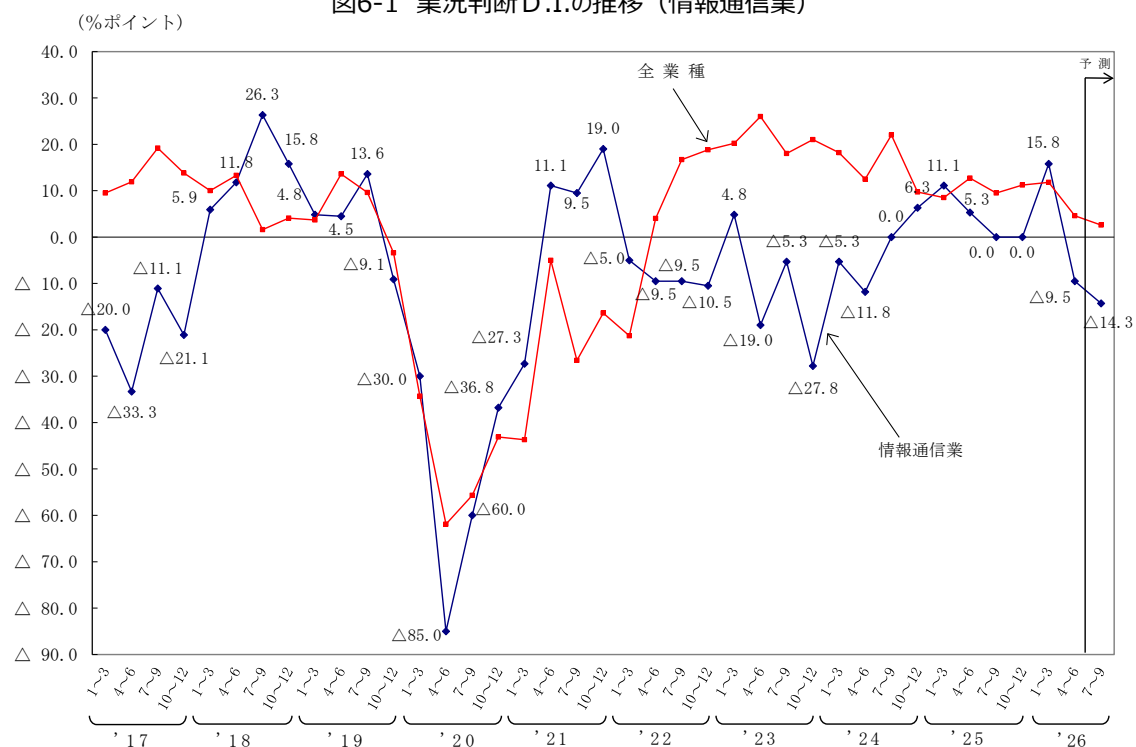
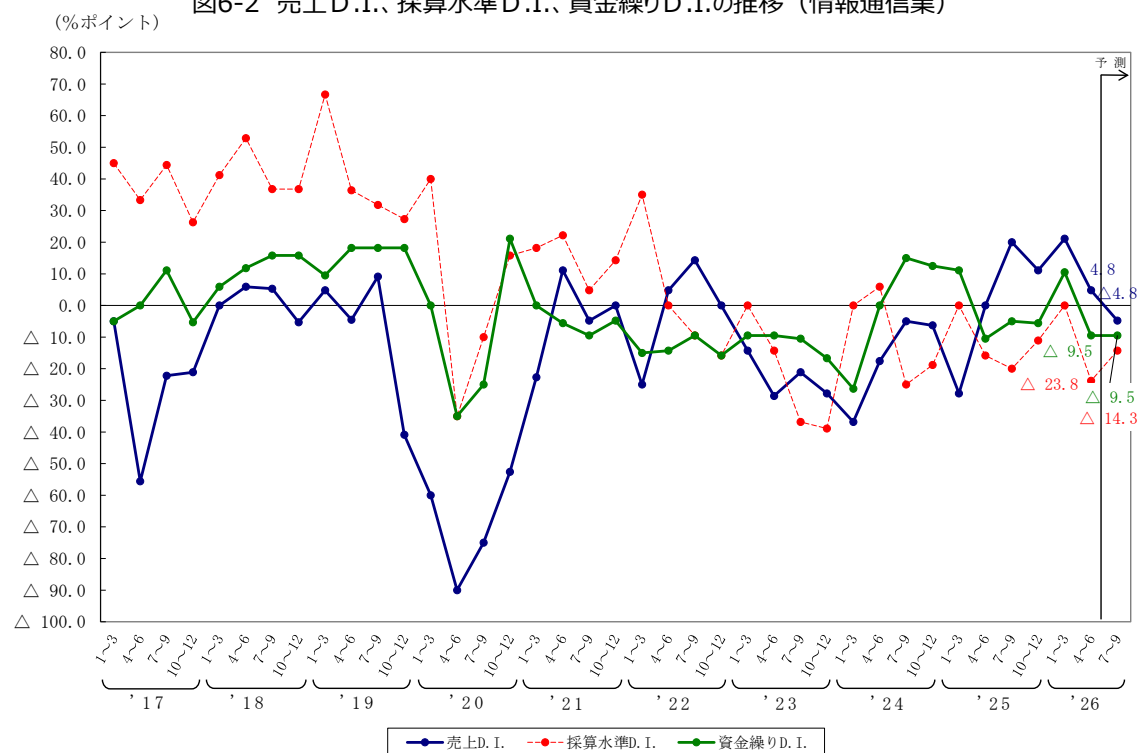


図6-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（情報通信業）



## 7. サービス業

図 7-1 業況判断D.I.の推移 (サービス業)

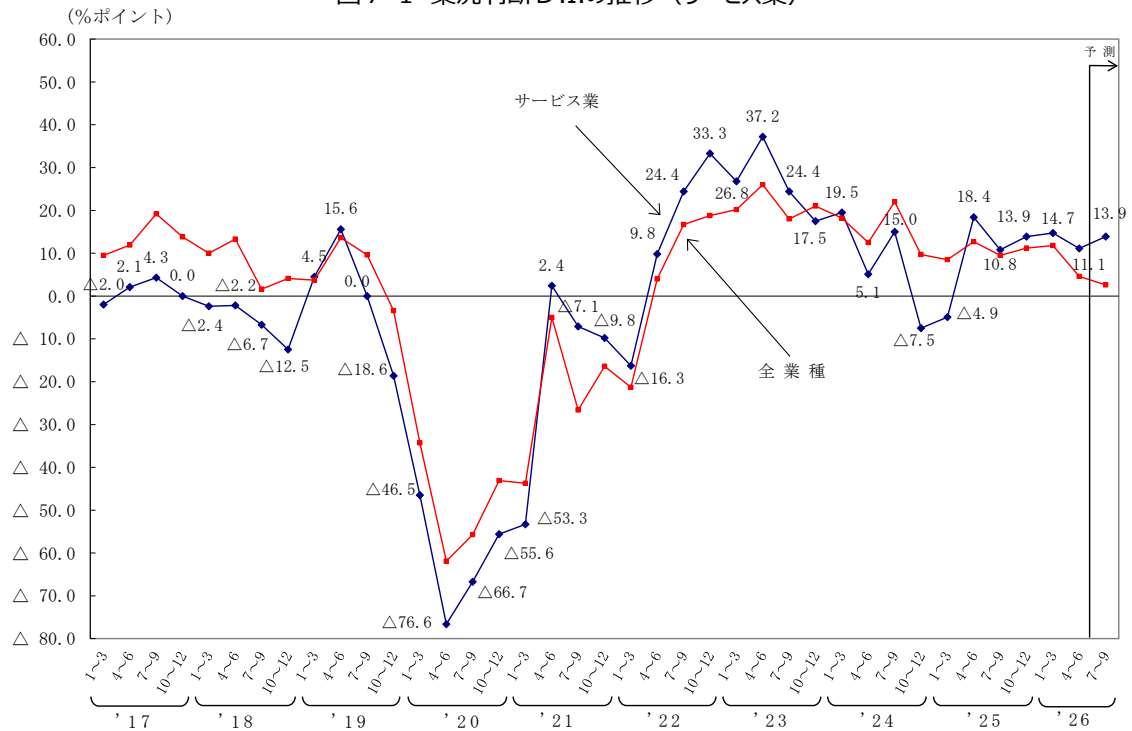
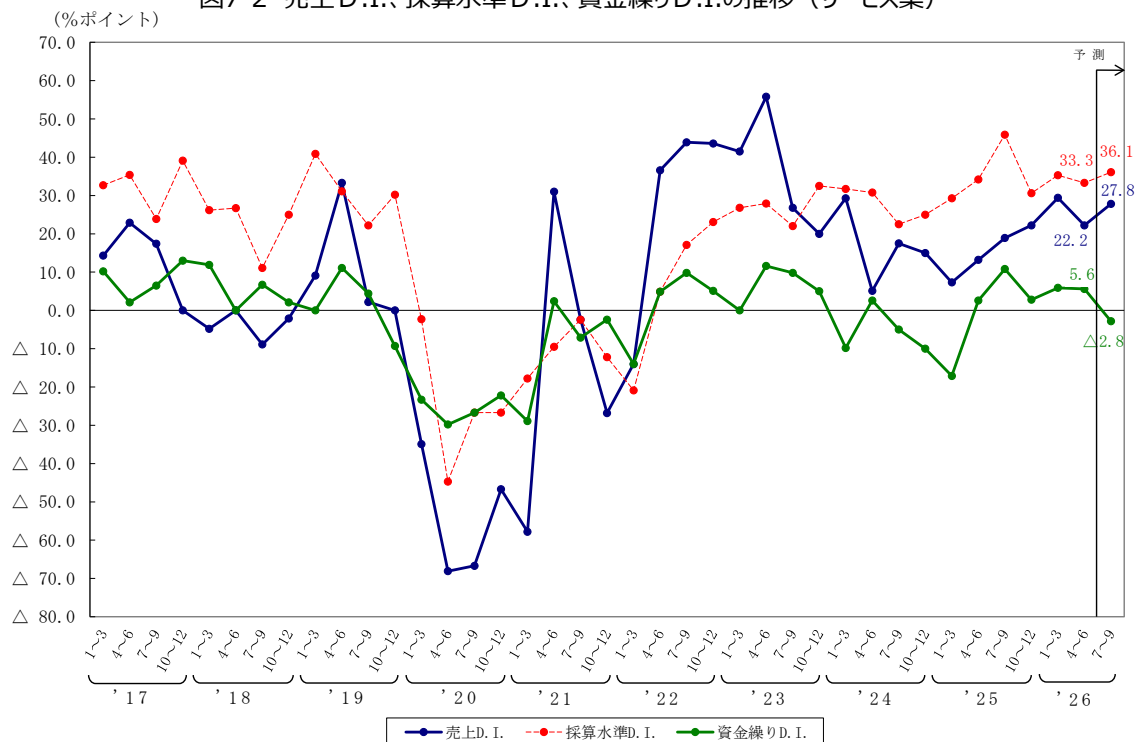


図7-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移 (サービス業)



## 8. 飲食店・宿泊業

図8-1 業況判断D.I.の推移（飲食店・宿泊業）

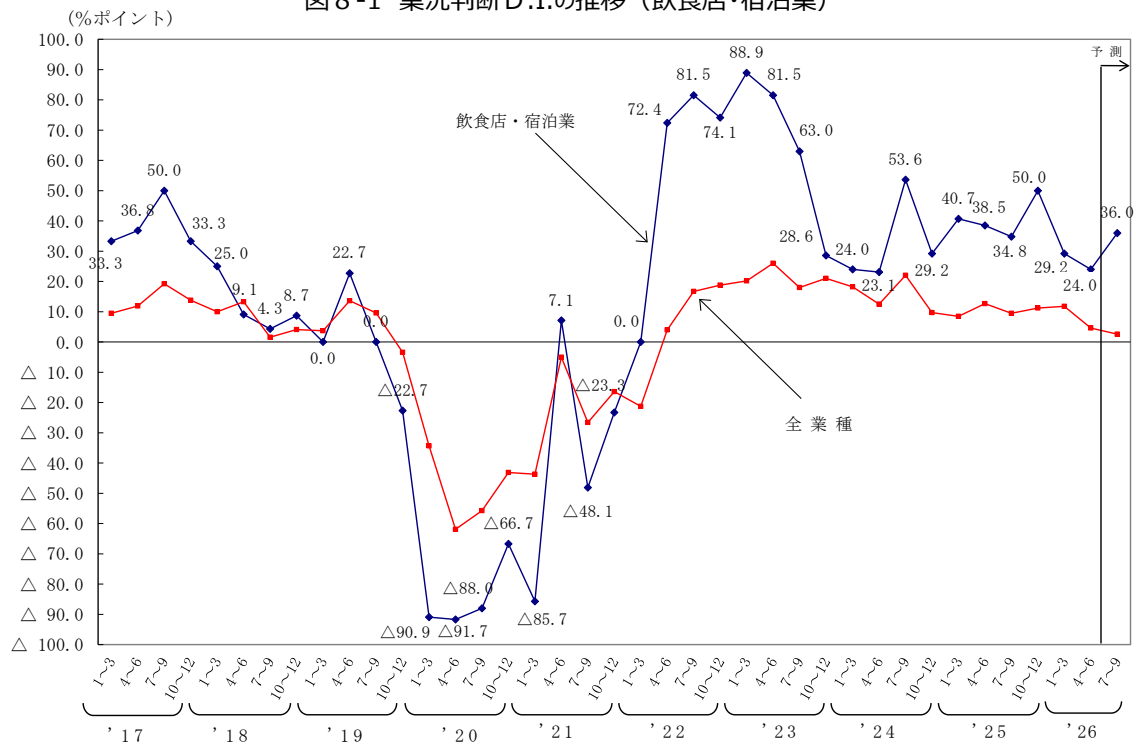


図8-2 売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の推移（飲食店・宿泊業）

